

日本文化大学 平成30年度決算の概要

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 平成30年度の概況

【以下、百万円以下切捨て記載】

当年度は当初から計画しておりました、2号館の建替えのため、旧2号館の取壊しを行いました。平成30年11月に新2号館の建築を開始しています。完成は令和元年10月の予定です。

当年度は上記2号館新築等に係る建設資金の支払いにより、建設仮勘定が5億66百万円計上された一方、当該建設資金の支払いによる預金の減少及び旧2号館の取壊しに伴う建物等の除却が発生したため、総資産全体としては4億6百万円の減少となっています。

2. 事業活動収支計算書の状況（別表1参照）

当年度の教育活動による収入は10億5百万円で、前年度比1億3千5百万円増加しましたが、一方で教育活動による支出が12億4千6百万円となり、前年度比3億3千2百万円増加となったため、収支差額は2億4千1百万円の支出超過となりました。但し、支出の増加の中には前述の旧2号館の取壊し及び正門等の取壊しに伴う費用2億5千1百万円が含まれるなど、一時的な要因による支出もあり、本学としては今後の大学運営においては引き続き健全性を保っているものと考えています。

教育活動外収入としては、資産運用による受取利息1百万円を計上しています。

特別支出としては、旧2号館の取壊しに伴う固定資産除却損を2億6千4百万円計上しています。

基本金組入は、新2号館に伴う建設仮勘定の計上による有形固定資産の組入れ等により総計1億3千8百万円となりました。この結果、当年度の最終収支は6億4千2百万円の不足となりますが、この不足額は前年度からの繰越金で充当しています。

3. 貸借対照表について（別表2参照）

【資産の部】

有形固定資産の当年度における増加の主な要因は、新2号館の建設に伴うもので、建設仮勘定が5億5千万円増加する一方、旧2号館の除却により、建物が2億4千5百万円減少しています。

これに、当年度の減価償却費を減算した結果、有形固定資産全体では1億6千8百万円の増加となっています。

特定資産については、退職給与引当特定資産を100%計上し、第2号基本金引当特定資産を計画通り1億円積増しています。一方、旧2号館の除却等により固定資産の減価償却累計額が大幅に減少し、償却資産引当特定資産が取崩されたため、特定資産総額では前年度比4千8百万円減少しました。

その他の固定資産については、特定資産の取崩しの影響もあり、別途積立固定預金が2千4百万円増加しました。

流動資産は、預金の一部を新2号館の建設資金の支払いに充てたため、流動資産総額としては、5億8千3百万円減少しております。

【負債の部】

固定負債は退職給与引当金のみで、退職金の支払いに備えるため、年度末要支給額の100%を計上しています。

流動負債は来年度の新入生の増加により、前受金が前年度に比べて6千5百万円増加しております。また、固定資産の未払金の計上などにより未払金が1千8百万円増加しており、流動負債総額では、8千9百万円増加しています。

[純資産の部]

有形固定資産の取得により、第1号基本金は 3千8百万円増加しました。
第2号基本金は新2号館の建設資金準備のため、1億円増加しています。結果として、基本
金総額では 1億3千8百万円増加しています。

別表1 事業活動収支計算書

単位；千円

教育活動収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	学生生徒等納付金
		手数料	26,309
		雑収入	2,755
		教育活動収入計	1,005,047
	支出の活動	人件費	441,152
		教育研究経費	684,843
		管理経費	120,470
		教育活動支出計	1,246,466
		教育活動収支差額	241,418
教育活動外収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	受取利息・配当金
		教育活動外収入計	1,819
	支出の活動	科目	金額
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	1,819
		経常収支差額	239,598
特別収支	事業活動	科目	金額
		収入の活動	特別収入計
	支出の活動	科目	金額
		資産処分差額	264,601
		特別支出計	264,601
		特別収支差額	264,601
		基本金組入前当年度収支差額	504,199
		基本金組入額合計	138,798
		当年度収支差額	642,998
		前年度繰越収支差額	19,801,465
		翌年度繰越収支差額	19,158,466

別表2 貸借対照表

単位；千円

資産の部	
科目	金額
固定資産	31,212,953
有形固定資産	9,756,962
特定資産	3,488,625
その他の固定資産	17,967,366
流動資産	2,183,178
資産の部合計	33,396,132
負債の部	
科目	金額
固定負債	156,032
流動負債	910,379
負債の部合計	1,066,412
純資産の部	
科目	金額
基本金	13,171,253
第1号基本金	12,420,253
第2号基本金	700,000
第4号基本金	51,000
繰越収支差額	19,158,466
翌年度繰越収支差額	19,158,466
純資産の部合計	32,329,720
負債及び純資産の部合計	33,396,132

(注) 各別表の金額は、各項目の金額について千円未満を切捨て表示しているため、合計が計算上一致しない場合があります。

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

資産総額	33,396,132,475 円
内 基本財産	10,557,554,983 円
運用財産	22,838,577,492 円
収益事業用財産	0 円
負債総額	1,066,412,187 円
正味財産	32,329,720,288 円

(単位:円)

区分	(数量)		金額
資産額			
1 基本財産			10,557,554,983
土地	70,417.51	m ²	2,573,354,971
建物	16,954.80	m ²	4,510,950,640
(1) 校舎	9,276.88	m ²	2,927,076,711
(2) 図書館	1,991.83	m ²	396,086,583
(3) 食堂・体育館	2,766.96	m ²	566,593,268
(4) その他	2,919.13	m ²	621,194,078
建設仮勘定	2	式	566,630,320
図書	26,169	冊	2,801,592
教具・工具・備品	3,831	点	213,147,973
その他			2,690,669,487
2 運用財産			22,838,577,492
預金			21,419,353,627
その他(未収入金他)			1,419,223,865
3 収益事業用財産			0
資産総額			33,396,132,475
負債額			
1 固定負債			156,032,520
(1) 退職給与引当金			156,032,520
2 流動負債			910,379,667
(1) 未払金			40,169,519
(2) 前受金			862,620,700
(3) 預り金			7,589,448
負債総額			1,066,412,187
正味財産(資産総額 - 負債総額)			32,329,720,288